

令和7年10月26日（日）養成講座

実施内容：「森林インストラクターによる防災・減災プログラム」

会 場：青少年の森 森林学習館

出席者：受講者 23人

講師：宮城県森林インストラクター協会 5人

【午前の部】

講義1「森林インストラクターによる減災プログラム」

多発する自然災害への備えや、防災と減災、「公助・自助・共助」の違いについてのほか、熊などの大型野生鳥獣の生態を知ること、遭遇した際の避難方法について学んだ。

【午後の部】

講義2「防災プログラム」実習

竹の加工、ロープワーク、井戸掘り、薪割りを実際に体験し、自活能力の向上を図ったほか、皿回しやけん玉、中国ゴマ（ディアボロ）を通して身体能力（体幹）の維持、判断力やバランス感覚の重要性について学んだ。



防災への備えと減災の考え方



見てると簡単そうだけど、やってみたら…



もやい結びや自在結びに挑戦！



燃料確保の薪割りは重要ですっ！